

事例

「つながる食育」を通して、時代を担う子供たちの健やかな心と体の育成を目指す（第8回食育活動表彰 消費・安全局長賞受賞）

埼玉県春日部市立牛島小学校（埼玉県）

埼玉県春日部市立牛島小学校では、「食育は生きる上での基本で、知育、徳育、体育の基礎となるものである」という理念のもと、児童たちがこれからの時代を健やかに生きるための基礎を作る「つながる食育」を学校・家庭・地域が三者一体となって推進しています。食べ物に満ち溢れた「飽食の時代」と呼ばれる現代において、日々の食事や地域の産物、旬の食材等に関心を示さない家庭が増加しています。こうしたことから、児童たちの食に対する興味関心の向上や食を通した豊かな人間性の育成を目指し、心身の健康を支え、生きる力を身に付けることができるよう支援を行っています。

「つながる食育」の最大の特徴は、学校を核とした家庭や地域との連携です。核家族やひとり親家庭が増える中で、児童は家庭のみならず地域社会全体で育てることが重要であり、学校での指導をはじめ、市内の保育所や幼稚園、中学校との連携や、例えば児童自身が日々の食事に関心や感謝の気持ちを持つことができるように、食に関する授業や地域農家さんと連携した稲作体験等を実施するなど、食の専門家や地元の生産者等、各関係団体とも協力しながら活動に取り組んでいます。様々な経験を通じて「食」に関する知識と「食」を選択する力を習得してもらい、生涯にわたる健全な食生活を実践できるようにすることを目指しています。

今後も学校を軸に家庭・地域が連携し、本校の特徴である「つながる食育」を継続して行うように、各関係団体と連携をより一層強化した上で食育活動に取り組み、子供たちの健やかな心と体の育成を実践できるよう努めていきます。



牛島幼稚園と連携している様子



地域農家さんと稲作体験の様子